

## アスベスト問題

昨年は、アスベスト災害が浮き彫りになり、社会問題となった年でした。わたし達静岡民医連でも、この間学習会を開き、医療機関を主体に相談や患者様の掘り起こしを進めてきました。

今回は、アスベストについてお伝えしたいと思います。

アスベストとは？

アスベスト(石綿)は、ケイ酸マグネシウム塩を主成分とする天然鉱物(せきめん、いしわた)。

不燃性で丈夫な性質のため、耐火・断熱あるいは吸音の為に吹き付け材、ブレーキなどの摩擦材として使用されたり、アスベスト糸やアスベスト布が作られたりというように、産業用品から日用品までたくさんの使い方をされていました。

アスベスト災害は**公害**？！

安全対策を怠ってきた企業と石綿規制を実施してこなかった行政の責任。

世界的に使用禁止になった後も、日本ではしばらくの間使用されていた。

労働者、国民の「知る権利」 石綿の健康影響に関する教育が不十分。

労働者の他、アスベスト鉱山周辺住民にも被害の恐れあり。

アスベスト被害は過去の問題ではなく、現在や将来の問題。労災認定者は、まだ5%程度。

今後、大幅に労災認定者が拡大するのでは！

### アスベスト(石綿)にさらされる職業

石綿鉱山・付属施設にて行う鉱物・岩石の採掘、搬出・粉碎その他生成の作業  
倉庫内、船積み・荷おろしにおける石綿材料の袋詰めや石綿製品の梱包、運搬作業  
石綿製品の製造工程における作業

石綿の吹き付け作業

耐熱性の石綿製品を用いて行なう断熱または保温のための被覆・補修作業

石綿製品の切断等の加工作業

石綿製品が被覆材・建材として用いられている建物の補修・解体作業

石綿製品が用いられている船舶または車両の補修・解体作業

石綿を不純物として含有する鉱物(タルク、繊維状ブルサイト等)の取扱い作業

石綿製品を直接取り扱う作業

## アスベストで起きる病気

アスベストによって発生する病気としては、次のものがあげられます。

アスベスト肺（じん肺）、中皮腫：（がんの一種）、肺がん、びまん性胸膜肥厚 などの呼吸器疾患が主体。

## 【アスベストによる主な疾病の症状】

息切れがひどくなった

咳や痰が以前に比べて増えた（痰の色の变化、血痰）

顔色が悪いと注意された、爪の色が紫に見える

顔がはれぼったい、手足がむくむ、体重が急に増えた

激しい動悸

風邪をひいてなかなか治らない

寝床に横になると息が苦しい など



## 病気を引き起こす理由

アスベスト繊維は直径0.02マイクロメートルと非常に細く、肺の奥深くまで入り込みやすくなっています。一度吸い込むと痰などと一緒に体外へ排出されにくく、その丈夫さから分解されることもないので、何十年も体内にとどまり、細胞などに刺激を与えます。それが原因でがんなどの病気を引き起こすと考えられています。

## 家族への影響

アスベスト関係の仕事をする人のいる家庭において、本人以外の家族が中皮腫などになった例が報告されています。持ち帰った衣服にアスベスト繊維が付着している可能性があったからです。

こうした問題から、家族の健康診断も必要です。

## 静かな時限爆弾

粉じんやアスベストの病気は、それを吸ってから20～50年後に現れます。ですから、仕事を辞めたり退職してから発病することがほとんどです。

したがって発病しても、それが大昔に吸ったアスベストが原因だと気がつかないことがよくあります。しかし、退職後に発病したアスベストによる被害でも、労災補償の対象になることがありますので、すぐ相談してみてください。

**（まずは、医療機関で相談を！！）**

## その他 アスベスト健康相談窓口

静岡県：（従事者と家族）静岡産業保健推進センター（TEL：054-205-0111）

（一般）県内各健康福祉センター、静岡市・浜松市は保健所

愛知県：（従事者と家族）愛知産業保健推進センター（TEL：052-242-5771）

（一般）最寄りの保健所